

- 32) 鈴木祥広, 2020. 「日本のひなた」みやぎの水環境. 水環境学会誌 73:215.
- 31) 鈴木祥広, 2020. マイクロプレートによる海藻バイオアッセイの応用例: 下水処理水による海藻スサビノリの生長促進効果. 日本海水学会誌 74:2-8.
- 30) 西村恵美, 鈴木祥広, 2020. 自然河川における薬剤耐性大腸菌の存在実態. 水環境学会誌 43: 92-94.
- 29) 山正晃, 鈴木祥広, 2020. 水環境におけるバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) の分布とVRE耐性遺伝子の伝播ポテンシャルの評価. *Journal of environmental biotechnology* (環境バイオテクノロジー学会誌) 20:63-69.
- 28) 糠澤桂, 鈴木祥広. 2020. ダム堆砂対策による河川生態系の応答に関する事例紹介. 電力土木 No. 405 6-10.
- 27) 鈴木祥広, 平山翔太. 2019. 海藻を供試生物とした迅速かつ低労力な生物応答試験法の開発. 日本マリエン지니어リング学会誌 54:100-106.
- 26) 鈴木祥広. 2018. タンパク質を用いた泡沫分離法の開発とその用途展開 (特集 気泡を用いた水処理技術). 水環境学会誌 41:158-163.
- 25) 鈴木祥広. 2016. 宮崎県におけるダム貯水池の濁水原因の発生源追跡に関する研究. 一般財団法人みやぎん経済研究所 調査月報 6:2-8.
- 24) 鈴木祥広. 2015. 宮崎の水環境における薬剤耐性菌の存在実態. 用水と廃水 57:773.
- 23) 鈴木祥広. 2015. 養殖排水の現状と課題-水資源と内面養殖業. 月刊下水道 38(5):13-19.
- 22) 村上俊樹, 太田勝康, 鈴木祥広. 2014. ダム貯水池における濁水長期化を引き起こす原因粒子の発生源追跡. 電力土木 No. 369(1):37-41.
- 21) 鈴木祥広. 2013. 五ヶ瀬川と北川の一次生産を支配する質的制限因子の比較検討, 河川生態学術研究会五ヶ瀬川水系研究グループ, 五ヶ瀬川水系の総合研究. 東京: 河川生態学術研究会. p 5-1-5-13.
- 20) 鈴木祥広. 2013. 置砂施工に用いるダム確砂の洗浄工程で発生する濁水の簡易凝集処理. 河川 No.807(10):49-53.
- 19) 鈴木祥広, 竹下伸一, 関戸知雄, 稲垣仁根. 2013. 湿原を含む家畜埋却地周辺の環境モニタリング. 日本草地学会誌 58(4):269-276.
- 18) 鈴木祥広. 2010. クルマエビの最新養殖技術: 完全閉鎖循環式システムによるウイルスフリー親エビの生産. 養殖 No. 591(5):44-47.
- 17) 古川隼士, 鈴木祥広. 2009. 河川水と海水のバッチ式混合実験におけるエストロゲンの挙動. 宮崎大学工学部紀要 38:203-211.
- 16) 鈴木祥広, 中村孝洋, 小山久男, 関戸知雄, 土手裕, 増田純雄. 2006. 畜舎排水処理施設におけるエストロゲンの実態調査. 水処理技術 47(1):17-22.
- 15) 鈴木祥広, 竹嶋剛, 伊丹利明, 丸山俊朗. 2006. 泡沫分離プロセスを導入した閉鎖循環式養殖システムによるクルマエビの飼育試験. 水 12月号 Vol.48-15(No.695):61-68.
- 14) 丸山俊朗, 鈴木祥広. 2004. 凝集剤と乳製カゼインを用いた凝集・泡沫分離法による懸濁物の除去. 混相流 18(4):314-323.

- 13) 丸山俊朗, 鈴木祥広. 2003. 凝集剤と乳製カゼインを用いた水中懸濁粒子の凝集・泡沫分離処理. 化学工学 67(3):147-149.
- 12) 鈴木祥広, 丸山俊朗. 2003. 汚れた泡沫”による水質浄化. アクアネット 6(4):38-44.
- 11) 鈴木祥広, 丸山俊朗. 2002. ゼロエミッション型養殖システムとは. 養殖 臨時増刊号「養殖施設ガイド」:48-53.
- 10) 丸山俊朗, 鈴木祥広. 2001. 閉鎖循環式高密度養殖の必要性と可能性. アクアネット 4(11):28-35.
- 9) 鈴木祥広, 丸山俊朗. 2001. オゴノリの栄養塩吸収能—海藻バイオフィルターへの利用. 海藻資源 5:47-48.
- 8) 丸山俊朗, 鈴木祥広. 2000. 閉鎖系養殖の完全循環化に挑む. 養殖 1:72-77.
- 7) 鈴木祥広, 古米弘明. 2000. 環境工学研究における環境影響評価と生態系影響評価に関する研究の経緯と現状, 沿岸域における広域環境問題の取り組み, 土木学会海岸工学委員会地球環境問題研究小委員会.東京: 土木学会. p 1.5.2-1.5.6.
- 6) 丸山俊朗, 鈴木祥広. 1999. 養殖排水の現状と水域への負荷. 用水と廃水 41(2):5-16.
- 5) 丸山俊朗, 鈴木祥広, 高見徹, 三浦昭雄. 1998. 海藻(海苔)を指標生物とした排水の影響評価. 水処理技術 39(8):389-397.
- 4) Maruyama T, Miura A, Suzuki Y, Takami T. 1997. Effects of chlorinated sewage effluent on the growth of seaweed (Nori, *Porphyra yezoensis*). The 3rd Japan-Netherlands workshop on integrated water management:1-12.
- 3) Maruyama T, Miura A, Yoshida T, Suzuki Y. 1996. Effects of chlorinated sewage effluents and chloramine on the growth of *Porphyra yezoensis* (Rhodophyta). 日本水環境学会「水環境保全の国際協力委員会」第5回日韓水環境工学シンポジウム:125-130.
- 2) Matsunaga K, Kuma K, Suzuki Y, Kudo I. 1994. Bioavailable iron in natural seawater Proceedings of International Trace Analysis Symposium '94 in Hakodate and Sapporo, Japan:63-67.
- 1) 松永勝彦, 久万健志, 工藤勲, 中林成人, 鈴木祥広, 戸屋健治. 1990. 光合成により生体内に摂取される鉄の化学形態. 水処理技術 31(3):135-138.